

安倍政権は脱デフレ＝＝を目指し、矢継ぎ早に成長戦略を打ち出している。だが、長期金利は急騰

し、株価も乱高下が続く。本当にデフレを抜け出し、経済は回復するのだろうか。

# 対論

## アベノミクス

### 5 脱デフレ



やすだ・すすむ 大学時代、学習塾「市進学院」で契約社員の講師に。昨年12月、全国一般東京東部労働組合市進支部書記長に就任した。

市進学院で労組結成の講師・安田晋さん(51)

## 容易な解雇、しわ寄せ不安

学習塾「市進学院」で講師を始めて、学生時代のアルバイトを含めると20年以上になります。小中学生を担当し、多くの子どもたちを指導し、有名進学校に輩出してきました。私たち講師の雇用は1年ごとの契約更新で非正規社員です。ところが、この10年で大きな変化がありました。大幅な勤務時間数の削減

と賃金カット。最も大きかったのは、就業規則に「契約の更新は50歳が最後」という条項が追加されたことです。私は嘱託職員として来年まで契約が延長されましたが、雇い止めにあって失業した仲間もいます。昨年末、有志の仲間数人と労働組合を結成しました。これまで会社側の一方的な労働条件の変更に耐えてきました。就業規則の変更が通告された時は、51歳以上でも講師以外の職種で雇用が継続されるとい

う話もありました。経営が悪化したからといって経営陣が何の責任もとらず、長年勤めてきた講師の首を切るのには納得できません。私には大学2年の長男がいます。仲間の多くは中学、高校の子どもがいて、教育費にまだまだお金がかかります。ほかのアルバイトを掛け持ちしたり、つれ合いの収入もあてにしたりしなければ、生活も苦しくなるような状態です。国は仕事内容や勤務地を限定する「限定正社員」の導入

を検討しています。景気に左右されやすく、会社の都合で解雇しやすい仕組みを作れば、私たちのような立場にしわ寄せが来るのではないかと心配しています。アベノミクス効果で景気は上向きといいますが、中学生の志望校は以前よりも公立高校が増えています。景気回復は全く感じられません。教育にお金をかけられるような仕組みも検討してもらわなければ、日本の行く末も心配です。(聞き手・上田学) 〓 終わり



脱デフレ 金融緩和、財政出動、成長戦略というアベノミクスの「3本の

矢」で、物価が下がり続けるデフレからの脱却を目指す。一方で、正社員よ

り解雇しやすい「限定正社員」のルールづくりなど労働環境の規制緩和も検討

し、不安定な働き手が増える可能性も指摘される。

月 日 年 日

全 域 13 版 2013年(平成25年)6月24日

# ちば